

2024 年の伊賀市 10 大（重大）ニュース概要

1 月	市役所窓口でキャッシュレス決済を開始（デジタル自治推進局）
-----	-------------------------------

課税課、収税課、住民課、伊賀支所、島ヶ原支所、阿山支所、大山田支所、青山支所の各窓口で証明書交付手数料を支払う際、クレジットカードや交通系 IC カード、二次元コード決済が利用できるようになりました。

1 月	能登半島地震にかかる職員派遣（人事課）
-----	---------------------

1 月 1 日に発生した能登半島地震における被災地支援のため、延べ 104 人の職員を派遣しました。現地では、医療活動や救急救助活動のほか、給水応援、避難所運営、家屋被害認定調査、農業集落排水の被災状況調査、被災建築物の危険度判定、健康相談、復旧・復興事業支援、災害マネジメントなど多岐にわたる支援を行いました。

また、9 月に発生した奥能登豪雨災害においても被害認定調査等のため職員 4 人を派遣し、懸命な支援活動にあたりました。

1 月	芭蕉翁生誕 380 年記念事業 オープニングイベント開催（文化振興課）
-----	-------------------------------------

松尾芭蕉の生誕 380 年を記念し芭蕉さんの偉大さや尊さを再確認し、文芸に対する姿勢や生き方を学び、広く世間へ発信していくにあたりオープニングイベントを開催しました。俳句ジュニアカップ、芭蕉×ART、「水田わさびさんと俳句を楽しむぐり！」など、さまざまな事業を行い、結びイベント「芭蕉さん さらなる旅へ。」には、「俳句が似合う芸能人コンテスト」で上位入賞した千原ジュニアさんをお迎えしました。

3 月	伊賀鉄道が交通系 IC カードの利用開始（交通戦略課）
-----	-----------------------------

3 月 9 日から伊賀鉄道伊賀線（忍者線）で、ICOCA など全国で相互利用可能な 10 種類の交通系 IC カードが利用開始となりました。

これにより、交通系 IC カードは、伊賀市内のすべての鉄道路線、三重交通バス路線、コミュニティバス「にんまる」、青山行政バスでお使いいただけるようになりました。また、導入済みの JR 関西本線や近鉄大阪線との乗り換えがスムーズになりました。

4 月	伊賀地域消防指令センター（伊賀、名張）（消防本部通信指令課）
-----	--------------------------------

伊賀市消防本部と名張市消防本部が 4 月 1 日から消防通信指令業務の共同運用を開始しました。

4月	伊賀市立中学校9校、生徒が選べるブレザー型の制服を導入し、初の入学式（学校教育課）
----	---

令和5年に実施した「新制服デザイン総選挙」で児童生徒、保護者らによる投票により決まりました。

令和6年度新入生より、性差にこだわらず自由に生徒が選べるブレザー型の制服を導入しました。

4月	伊賀市ゼロカーボンシティ宣言（生活環境課）
----	-----------------------

本市では、2005年12月の「伊賀市環境保全都市宣言」に基づき、芭蕉も愛したかけがえのない伊賀の自然を守り、未来を担う次世代の子どもたちに引き継ぐための取り組みを進めてきましたが、今回の宣言により、今後さらに、市民、事業者、行政が一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ（カーボンニュートラル）をめざすことを宣言しました。

7月	「オーガニックビレッジ宣言」（農林振興課）
----	-----------------------

伊賀市、名張市で有機農業の推進に取り組む「オーガニックビレッジ宣言」をしました。2市が合同で宣言を行うのは三重県初となります。

10月	名張市、奈良市と協定を締結（総合政策課）
-----	----------------------

広域連携をさらに進めていくために、生活圏を共有する名張市との間で定住自立圏形成協定を、また奈良市との間で包括協定をそれぞれ結びました。

11月	稲森稔尚新市長が初登庁（秘書広報課）
-----	--------------------

稲森稔尚新市長が、初登庁し新市政がスタートしました。